



FUJI WOMEN'S UNIVERSITY

No.74

Jul.20, 2022

藤女子大学
広報

藤



UHBと連携協定を結び、第1弾イベントを開催しました

CONTENTS

- 巻頭言～個性の花咲く藤／2
- 【企画】2025年に迎える藤学園100周年に向けて
～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～／3
- UHBとの連携／8
- 札幌市との連携「ウォッチング札幌NEXT100」／13
- 私のカレッジライフ～チャレンジ編～／14

巻頭 言



個性の花咲く藤

学長 ハンス ユーゲン・マルクス



北海道におけるカトリック教会初代の総括責任者に就任して以来、キノルド司教は「北海道の未来は女子教育にある」と訴えていました。これに応じて、1925年4月、札幌藤高等女学校は開校しました。「個性の花咲く藤」のルーツです。短期大学を含めて、高い知性と豊かな人間性を兼ね備えた女性たちが、本学から3万人以上も巣立ち、社会のそれぞれの場で活躍しています。

キノルド司教の予見が的に当たっていることは、『東洋経済』による各種のランキングからも伺えます。本学は「有名企業への就職に強い大学トップ200校」2021年10月のランキングで全国119位、2022年6月の「有名400社実就職率ランキング(入学難易度50以下)」では全国24位となり、いずれのランキングにおいても道内私立大学ではトップになっています。

しかし、有名企業への実就職だけが実績を証するものではありません。道内の高校家庭科教員の半数が本学の卒業生であることをはじめとして、多くの卒業生が地元の教育現場を支えています。また、新聞各



社やテレビ・ラジオ局など、社会的影響力の大きいマスメディアの制作現場でも卒業生が活躍しています。

そんな卒業生を誇ることのできる藤学園は、2025年に100周年を迎えます。これを見据えて、教職員・学生・卒業生が一丸となって、推進すべき「藤女子大学未来共創ビジョン」を掲げています。上記の表題「個性の花咲く藤」はキーワードの一つです。就職の実績に加えて、北海道唯一の四年制女子大学である事実こそ本学のかげがえのない個性の証でしょう。

昨今、女子教育から男女共学に切り替える大学も増えている中、なおも本学が女子教育に専念し続ける主要な理由は、建学の経緯や理念であることは申すまでもありません。さらに、建学理念への忠誠はもとより、とりわけ国際社会での女性の活躍がますます際立ってきている中、女子教育のポテンシャルへの見通しが加わってきました。きっと、日本国内でも今後、女性のリーダーシップに対する期待が高まっていくでしょう。

リーダーシップの発揮に必要な問題発見・解決型の思考やソーシャルスキルを育むには余裕のある取り組みが最適でしょう。とりわけ道内にこうした取り組みのモデルを発信するためにも、これまで進めてきた個性尊重および個性涵養の女子教育を継続し、かつ、充実させていきます。この志は「ひとりひとりの咲くべき花を咲かせよう——うつくしく やさしく しなやかに——」と謳う藤学園全体のモットーに合致しているに違いないでしょう。

企画 2025年に迎える藤学園100周年に向けて ～5つの未来共創ビジョンと本学の取組み～

第2回 個性の花咲く藤 ～チャレンジを応援します～



未来共創ビジョンの一つとして、本学は、魅力ある学修環境を整備するとともに、教職員の教育力を高め、人格的な触れ合いの中で学生一人ひとりに合わせたサポートを実現させることを目指し、学生生活での出会いや学び、経験を通して、学生たちが自分らしさを磨き、社会へと羽ばたいていけるよう応援しています。

多くの卒業生が様々な分野において様々な形で活躍していますが、今回は、自分らしさを発揮しながら働く2名の卒業生に、ご寄稿をお願いしました。



私らしさを発揮 次々と新たなことにチャレンジできる職場

株式会社テレビ北海道 (TVh) 玉木 亜実

文学部 文化総合学科 伊藤明美ゼミ 2016年卒業

入社してから報道部に6年間、その間に2人出産し、7年目になる今年からは営業戦略部で仕事をしています。報道ではカメラマンと取材に行きニュースの原稿を書きます。選挙の立候補者への密着、札幌市長への単独インタビュー、ヘリコプターに乗って観光の取材など好奇心旺盛の私には最高の環境でした。

災害現場や事件、事故などナーバスな取材もありますが、視聴者が求める情報を伝えることにやりがいを感じ、多く感じる仕事です。

大学時代は留学や他大学の部活への参加など活発に過ごし、様々な人種、年代のひととの関わりやイベントの計画など多くの経験を積むことができました。そこで得たコミュニケーション力や何にでも挑戦してみる姿勢は、取材先で相手の情報を引き出すことや新しい企画を考えることに役立ち、自分らしさを発揮できたと思います。また、ゼミで研究方法を厳しくご指導していただいたことは、自分が知らない分野でも短期間で理解し、誰にでもわかりやすい原稿を作ることに活かされました。

現在は請求や売り上げを管理する業務に就き、全国の系列局とのやりとりも増えました。このようなジョブローテーションも私の好奇心を満たし、知見を広げてくれています。今は勤務時間を短くする制度を利用し、子育てとの両立をはかっていますが子どもの自立が進めば、番組をつくる制作部やイベントを運営する事業部、また報道部に戻るなどして様々なポジションでキャリアアップをしていきたいです。



ヘリコプターに乗ってのリポートも



経験を活かした国際調査の仕事

文部科学省 国立教育政策研究所 幼児教育研究センター 舟津 香菜美

人間生活学部 保育学科 吾田富士子ゼミ 2009年卒業

私は現在、国立教育政策研究所の幼児教育研究センターで、国際調査専門職として働いています。主な仕事は「OECD国際幼児教育・保育従事者調査」という国際比較調査に関わるものです。職場は日本での調査実施機関であり、幼稚園・保育園・認定こども園に勤める保育者の方々等へのアンケート調査を行います。私は、所内の研究官の方々の補助として、現在、2024年実施予定の本調査やその準備段階の調査のため、様々な業務を行っています。

藤女子大学卒業後、私は札幌市内の私立幼稚園で働いていましたが、青年海外協力隊に応募し、アフリカのブルキナファソという国に行きました。大学時代に「異文化理解教育」の授業の中で「途上国」に興味を持ったことがきっかけの一つです。協力隊でブルキナファソの保育に関わる中で、国により、保育に対する考え方も方法も異なり、日本の保育の考え方が当たり前ではないことを知りました。この経験は今の私をつくるものになりました。

帰国後は大学院に進学し、日本の保育とアフリカの保育について考える日々を送りました。保育や教育はその国の文化や国の政策等の影響を受け異なりますが、比べて考える中でたくさんの気づきを得られます。今の仕事に就くまでに、保育園、認定こども園、特別支援学校でも子どもに関わる仕事をしました。この経験による視野の広がりも今の仕事に活かしています。

関わる調査は、日本の保育現場の声を調査によって集め、最終的に、他国と比べた結果を日本の保育に還元することを目指すものです。日々勉強であり、私の仕事はそのほんの一端ですが、実体験として他の国の保育、文化や風土等を知っている事、様々な場で働いてきたことは、国際調査に関わる上で、とても役立っています。



ブルキナファソの園行事にて

新入生へのエール

〈文学部〉

英語文化学科

1年生担任 教授 英 美由紀

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんが藤女子大学および藤学園の一員に加わってくださったことを心より歓迎し、また皆さんがこれから実りある4年間を過ごして下さることを願っています。大学はそのための様々なサポートを行っていますので、分からないことや相談したいことがあるときは、学年担任、アカデミック・アドバイザー、基礎演習の担当教員をはじめ、教務課や学生課のスタッフなど、遠慮なく頼っていただければと思います。皆さんが心身ともに健康で、大学生活への目標を持ち、それに向かって自分らしく、マイペースで前進していけますよう、応援しています！



卒業研究ゼミの授業で、卒論執筆に向けて参考文献の検索中
(図書館・ラーニングコモンズにて)



充電しましょう！

英語文化学科 4年
N.Kさん

新入生の皆さま、ご入学おめでとうございます。コロナ禍の中、勉強、アルバイト、サークル、一人暮らしなど、新しい環境は楽しさもある反面、追われる大変さもあり、自然と疲れが溜まってきている方も多かもしれません。

まずは、心と体の健康が第一です。「ちょっと疲れたかな……」と思ったら、体を休めたり、思いっきり遊んだり、悩みがある時は気軽に誰かと話してみてください。休むことにどこか罪悪感を感じることもあるかもしれませんが、休息は、また自分が力を発揮するための大切な充電の時間です。どうかいつも頑張っている自分を褒めてあげてください！皆さんがこれからも、元気に楽しく、素敵な学生生活を送れるよう願っています。

日本語・日本文学科

1年生担任 教授 揚妻 祐樹

新入生の皆さん。新しい生活には慣れたでしょうか？
コロナ禍の収束がいまだに見えない毎日ですが、こんな時こそ「何ができないか」ではなく、「何ができるか」を探そうとする姿勢が重要であることを、特に最近痛感しています。私個人としては、それまで何となく敬遠していたYouTubeを見る習慣がつかまりました。なるほど。確かに面白い。特に音楽関係のものが好きで、ここ20年くらい邦楽、洋楽を問わず音楽シーンに付き合っただけだったのでとても新鮮です。

入学式の日、皆さん、何を勉強するべきか、大いに迷ってください、文学部はそのための学部です、と申し上げました。ゆっくりでかまいません。「これなら自分でもできそう」「これなら付き合っていけそう」というものを是非、探し当ててください。



力のこもる書道の授業



挑戦を忘れずに

日本語・日本文学科 4年
K.Nさん・K.Mさん

ご入学おめでとうございます。現在コロナ禍で皆さんが思い描いていたのとは違うキャンパスライフになってしまっているのではないかとお察しします。

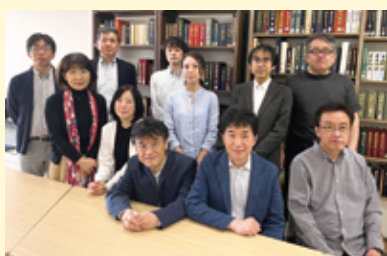
大学は高校までと違い、何を学ぶか何を選ぶかが自由です。そのため挑戦してみたいと思うことはなんでも出来るのではないかと思います。自身の好きなことに取り組む事をオススメします。好きこそ物の上手なれ、好きなことの学びを深め、様々な発見をしてください。何か実現したいことを見つけたら、学ぶすべを見つけて全力で挑戦してみてください。藤女子大学には学ぶすべがあります。教授、友人、書籍など多くのものに触れ合うことが出来ます。新入生の皆様は今よりもっと素敵な人になれるよう応援しています。

文化総合学科

1年生担任 准教授 石井 佑可子

新入生の皆さん、藤女子大学へようこそ。入学されてからしばらく時間が経ちましたが、学生生活はいかがでしょう。

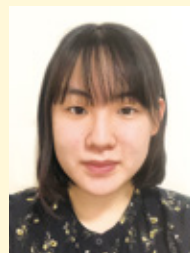
また、これからの4年間はどのようなものになるでしょうか。「大学生活は様々なことに挑戦できる期間」というような言葉をよく耳にしますが、これは、「大学生の間は、多少の失敗をしてもなんとかなる時期」ということなのかもしれません。失敗を恐れずに、4年間で様々なことに挑戦してみてください。そして、楽しさ・嬉しさ・誇らしさ・くやしき・情けなさ・恥ずかしさ・清々しさ……など、たくさんの気持ちを豊かに味わって、素敵な大人になってもらいたいと願っています。まだまだ制限がある中ではありますが、皆さん



文化総合学科教員

※撮影時につきマスクを外しています。

とこの大学で共に学べることをうれしく思っています。どうぞよろしく願います。



キャンパスライフは自分で作れる

文化総合学科 3年
O.Mさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そろそろ大学生活に慣れてきた頃でしょうか？

大学では中学校や高校と違い、自分の興味のある分野をより専門的に学ぶことができます。藤女子大学の長は他の大学と比べて先生と学生の距離が近く、質問や相談がしやすいところです。さらにラーニングスペースや図書館など、学ぶのに最適な環境が整っています。ぜひこの環境を活用して興味のある分野を深めていって欲しいと思います。また大学での学びは授業の中だけではありません。サークルやアルバイトなどにも積極的に挑戦してもらいたいです。キャンパスライフは自分で作れます。皆さんが、今しか出来ない学生生活を思う存分楽しんで、有意義な4年間になるよう願っています。

〈人間生活学部〉

人間生活学科

1年生担任 教授 木脇 奈智子

大雪に見舞われた冬が終わり、春の訪れと同時にみなさんが入学されました。人間生活学科の歴史を彩る第31期生です。

入学式は緊張でいっぱいだったことと思いますが、週明けの担任指導で「他己紹介」をして一気に仲良くなりましたね。私が知らない「好きな芸能人」の名前で盛り上がるみなさんを見て、自分の年齢を感じつつ、若さのおすそわけをいただいています。

学科では2年生、3年生と進むにつれて専門に沿った実践的で多様な学びが展開されます。4年間がみなさんの



住居学演習でのフラワーアレンジメント

人生の中で、楽しく実りのある時代となりますように、教職員一同伴走したいと考えています。



新たな一歩を

人間生活学科 3年
S.Mさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！私の皆さんへのアドバイスは、興味のあることにチャレンジすることです。大学生になると今までよりも自由な時間が増えます。この時間を使って小さなことでもいいので、今まででできなかったことややってみたいことに積極的に取り組んでみてください。

私は入学後からアルバイトを始め、そのお給料で旅行したり、きものの着付け教室に通ったりしています。この経験から、授業で企画を考へるときにアイデアが出るようになったり、さらに学びへの関心・意欲が高まったりしています。様々な経験は皆さんの視野を広げ必ずどこかで役立ちます。大学4年間はあっという間です。この期間でたくさんの経験を積んでください！

食物栄養学科

1年生担任 准教授 奥村 昌子

新入生の皆さんに送りたい歌はアニメ忍たま乱太郎の主題歌「勇気100%」です。大学での時間は、まさにこの歌にあるフレーズ「やりたいことやったもん勝ち!青春なら〜♪」な時間です。やりたいことに挑戦する時、やはり必要なものは一步踏み出す「勇気」です。その勇気を出せた瞬間、今までとは違う景色が見えてきますよね。今、大学で新しい友達、新しい学びに出会えていることは、皆さんの「勇気」の結果ですね。ぜひこれから「勇気〜♪」を口ずさみ、大学生活を新しい景色でいっぱいにしてください。そして、失敗は恐れずに。先の歌のフレーズの続き「つらいときはいつだってそばにいるから〜♪」のように、藤女子大学には、あなたを応援する友達、教職員がいつでもそばにいます。



食物栄養学科教員

※撮影時につきマスクを外しています。

子ども教育学科

1年生担任 教授 青木 直子

大学生活が始まり、約3ヶ月が経ちました。大学入学以来、みなさんには、友達との出会い、学問との出会い、部活やサークル活動との出会い、初めて暮らす街との出会いなど、さまざまな新しい出会いがあったことと思います。また、大学入学後、これまで気付かなかった自分に会ったという人や、自分の目指すものに出会ったという人もいるかもしれません。

これからの大学生活でも、いろいろな出会いがみなさんを待っています。ひとつひとつの出会いを楽しみながら、大学生活を過ごしていきましょう。また、新しい出会い



スタートアップセミナーでのひとこま

は、時に私たちが疲れさせます。そんなときには、しっかり休んで、また、進んでいきましょう。



「感謝」を大切に

食物栄養学科 4年
K.Nさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。入学から数ヶ月が経ちましたが新たな生活には慣れてきましたか？

もしかすると、思い描いていた大学生活よりも忙しく、日々の講義や課題をこなすことに精一杯という方もいるかもしれません。私もそうでした。そんな中でも私はこの3年間、「感謝すること」を大切にしてきました。講義を受けられることや実習ができることは決して当たり前ではありません。家族や先生方、友人など周りの支えがあってこそ、乗り越えられるのだと学ぶことができました。

「感謝」を忘れず、やりたいと思ったことにまっすぐに挑戦してみてください。そして沢山の失敗をしてみてください。勉学に限らずサークルやアルバイトなど、皆さんの学生生活がのびのびと実りあるものとなるよう応援しています！



自分に自信を

子ども教育学科 3年
K.Hさん

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新しい生活には慣れましたでしょうか。中には、まだ慣れることができず、この先への不安や心配を感じている人もいるかもしれません。そんな人には、是非、自分に自信をつけて欲しいと思います。

多くの授業が対面授業となった今、人と関わる機会に溢れています。周りには、自分には無い考えを持っている、良い刺激を与えてくれる人が沢山います。是非、色々な刺激をもらい、様々なことに挑戦してください。挑戦することで得られるものは自分の自信に繋がり、これからの人生の糧となります。

残りの大学生活は長いようであっという間です。後悔のないよう過ごしてください。応援しています。

〈大学院 人間生活学研究科〉

人間生活学専攻

専攻主任 教授 岡崎 由佳子

大学院生のみなさま、ご入学おめでとうございます。7月に入り、講義や演習において専門的な学びをさらに深められていることと思います。大学院では、対面授業とオンライン授業の両方の利点を活かし、少人数で活発な議論を交わしながら学べる点が魅力だと感じています。各専門分野の知識を総合的に捉えて、ご自身の研究に取り組まれていってください。

私たち教員は、一人ひとりの大学院生活がより良いものになるように支援していきます。



資料作成の様子



**ご入学
おめでとうございます**

人間生活学専攻 2年
N.Yさん

大学の授業を通して興味を持った分野を追究したい方、社会に出て働く中で抱いた疑問を研究したい方など様々な目標実現のために進学されたと思います。私は、卒業論文のテーマに興味を持ちさらに深めたいと思い進学しました。専門的な内容について難しく感じることもありますが、先生に様々な面で親切にして頂き、期待していた以上に充実した毎日を送っています。皆様にとって、大学院生活が実りあるものになることを願っています。

食物栄養学専攻

専攻主任 教授 小山田 正人

入学おめでとうございます。今年度は大学卒業後直ちに大学院に進学された方、社会人として働きながら学ぼうという方、男女とも入学できるという大学院の特徴を活かして入学された方と、多様な新生をお迎えしたことをうれしく思っています。新生の皆さんが多様性を活かし、

お互いに情報や意見等を交換しながら、大学院での研究を行ってみたいと思います。教員も皆さんと考えやアイデアを交換することを楽しみにしています。



食物栄養学専攻教員

※撮影時につきマスクを外しています。



この経験を明日へ!

食物栄養学専攻 2年
A.Sさん

ご入学おめでとうございます。私は薬剤師として働きながら、大学院長期履修3年目を迎え、日々の学びを業務に活かしながら、約30年ぶりの学生生活を満喫しております。

皆様にとって初めて経験することも多いと思いますが、大学院で成しえたものが人々の生活をより良いものとし、この経験が自らの人生のステップアップにつながるように、共に学び、励まし合い、楽しみましょう。新生の皆様を心より歓迎いたします。

新任教職員 紹介

文学部
英語文化学科
講師
井川 詩織



[専門分野]
言語学(統語論、形態論)
[好きな言葉]
根気

人間生活学部
人間生活学科
講師
高嶋 真之



[専門分野]
教育行政学 教育学
[好きな言葉]
なんとかなる

人間生活学部
食物栄養学科
講師
石田 しづえ



[専門分野]
給食経営管理
[好きな言葉]
努力は決して無駄にならない

人間生活学部
食物栄養学科
助手
石川 世葉



[専門分野]
栄養学
[好きな言葉]
終わり良ければ全て良し

退職教職員

※所属・職名・氏名(研究分野) 2022年 3月31日付

文学部 英語文化学科 教授 木村 信一 (英文学、英語圏文学)
人間生活学部 人間生活学科 教授 伊井 義人 (教育学)
人間生活学部 食物栄養学科 教授 池田 隆幸 (応用微生物学)
人間生活学部 食物栄養学科 教授 村田 まり子 (給食経営管理)

人間生活学部 食物栄養学科 助手 坂井 絵理 (栄養学、健康科学)
人間生活学部 子ども教育学科 教務助手 竹村 昌江
総務課 高橋 清二
総務課(花川オフィス) 中村 靖広
学生課(花川オフィス) 伊藤 修二



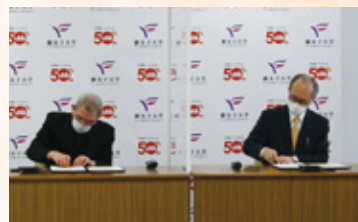
※撮影時につきマスクを外しています。

2022年3月1日、本学は北海道文化放送株式会社（以下、UHB）と「連携・協力に関する協定」を締結し、本学北16条キャンパスにて調印式を執り行いました。本学卒業生（文学部 日本語・日本文学科 2015年卒業）でもあるUHBの柴田平美アナウンサーの司会進行のもと、加藤雅規代表取締役社長とハンス ユーゲン・マルクス学長が協定書に署名しました。

本協定は、本学の持つ知見や人材とUHBのこれまでのノウハウや情報発信力を組み合わせることを推進し、学生の教育や多様な人材の育成と発掘につながる共同での事業やプロジェクトを通じて、学生が社会へ進出するための力とすること、地域の持続的発展に貢献することを目的としたものです。あわせて共同での活動を通じて、若い世代の志向や価値観を共有し、両者が今後役に立っていくことを目指しています。

2025年に学園創立100周年を迎える本学にとって、学生の教育や、多様な人材の育成と発掘につながる共同事業等を通じて、学生の企業理解や社会性の向上などにつながることを期待しています。また、2022年に50周年を迎えた、地域に根差したUHBと連携・協力することで、地域・社会の発展や北海道のメディアの発展に寄与していくことを目指しています。

今後、メディアやキャリアアップに関する講座、インターンシップなどの機会をUHBからご提供いただくなど、さまざまな共同事業やプロジェクトに取り組んでいく予定です。



【協定企画】第1弾イベントを開催いたしました

2022年5月30日、「あしたから会話がちょっとラクになるコミュニケーション講座」と題して、現在ご活躍されている柴田平美アナウンサーにお話しいただきました。就職活動を控えた3年生を中心に、約50名が対面で参加したほか、オンラインで参加した学生もいました。話し方や聞き方、相槌の打ち方、目線、オンラインでのコミュニケーションの取り方などの具体的なアドバイスに加えて、緊張への向き合い方や事前準備の大切さなどについてもお話しいただき、学生たちは終始、一生懸命メモを取りながら真剣に耳を傾けていました。



講師を務めてくださったUHBの柴田アナウンサー（日本語・日本文学科 2015年卒業）

「札幌文化芸術劇場hitaru」の オフィシャルスポンサーになりました

2022年4月、公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交流プラザ「札幌文化芸術劇場hitaru」と2022年度オフィシャルスポンサー契約を締結しました。当劇場は2018年10月のオープン以来、多彩な演出を実現する北海道初の多面舞台を備えた高機能劇場として、オペラ、バレエ、ミュージカルをはじめとする国内外の優れた舞台芸術や、ポップスのコンサートなど、あらゆる世代が楽しめる多様なジャンルの公演を行い、札幌における文化芸術活動の中心的な拠点となっています。

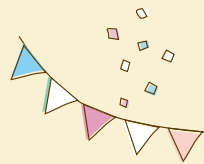
文化芸術は、子どもの心豊かな成長を支え、人々に感動と希望をもたらすとともに、創造性を育む源となります。本学は、「札幌文化芸術劇場hitaru」への協賛を通じて、札幌や北海道のさらなる文化芸術の創造・発展に貢献することを目指しています。

札幌市民交流プラザ館内に設置されている
デジタルサイネージとスポンサーボード





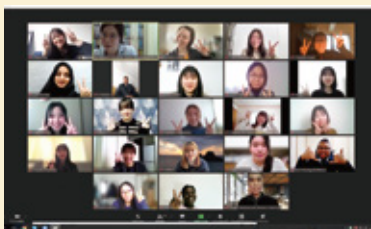
藤女子大学の国際交流



グローバル教育センターは、それまでの外国語教育研究センターと国際交流センターを統合する形で2022年4月に設立されました。外国語の習得と広い意味での異文化理解とを有機的につなげるハブとしての役割を担い、同センターが運営する留学・国際交流プログラムは、語学教育と異文化体験とが「交わる場 (locus of intersection)」として、今の時代だからこそその存在感を増しています。文学部の特別英語プログラムである「藤ACEプログラム」の運営や留学支援のみならず、全学を対象とした英語圏およびアジア圏への派遣留学・語学研修の各種サポートを行っています。今年度からは、協定校を含む海外大学の語学講座を受講できる「オンライン語学研修科目」(単位認定あり)も始まり、加えて日本にいる海外留学生とのディスカッションを目的とした国内プログラムや観光通訳案内の体験プログラムなどの新しい試みも進めています。(グローバル教育センター長 高橋 博)

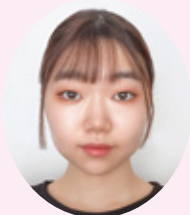
◆国内英語研修・異文化体験 参加報告◆

2022年3月1日～4日、本学で(株)アイエスエイ主催の「エンパワーメントプログラム」を実施しました。対面の予定が、感染症拡大防止のためオンラインになりましたが、16名の学生が参加しました。ファシリテーターの指導のもと、日本の大学院で学ぶ留学生5名がチームリーダーとなり、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントについて、本学学生と英語でのディスカッションを行いました。参加者の感想をご紹介します。



終了後の記念撮影

改めて実感した「英語」の大切さと楽しさ



文学部 英語文化学科 3年 M.Yさん

私はこのエンパワーメントプログラムに初めて参加をしました。ただ正直、参加する前までは、本当にこのプログラムは意味のあるものなのだろうかと思っていました。しかしぜひ参加してみると、日本人だけではなく、様々な国の方々と接していく中で、みるみるうちに自分の固定概念が崩れ、新しい考え方も発見できたりと、毎回のごとく脳が活性化され、4日間という非常に短い期間ではありましたが、とても有意義なものとなりました。また、英語という言語手段を使い、色々な国の方々とコミュニケーションを取ることに楽しさを改めて感じるきっかけにもなり、ますますスピーキング力向上へのモチベーションが上がりました。それゆえ、また機会があれば、ぜひ参加したいと考えていますし、少しでも興味が湧いた方がいれば、ぜひ参加してほしいです。

4日間のオンラインプログラムを通して



文学部 日本語・日本文学科 3年 H.Yさん

海外学生が各班に1人付き、毎日様々なテーマでディスカッションを行いました。自分の個性やリーダーシップ、ジェンダーというような難しい内容について、英語で意見を述べることはとても大変でした。しかし、海外学生や参加メンバーの意見を聞くことで、自分の考えをより深いものにすることができました。私は英語を話すことが苦手で、参加前はとても不安でしたが、事前学習や海外学生のサポートがあったので、毎日楽しみながら英語を話すことができました。たった4日間のプログラムでしたが、有意義な時間を過ごすことができました。これからも英語の勉強を続け、海外の方と話すことのできる機会があれば積極的に参加していきたいです。

◆留学生へのインタビュー◆

4月に来日した輔仁大学(台湾協定校)からの留学生 S.Mさんに、本学の国際交流クラブ「なでしこ」の部長 T.Mさん(文学部 英語文化学科 3年)と副部長 W.Yさん(文学部 英語文化学科 2年)がインタビューを行いました。

Q1:どのような授業を履修していますか?

留学生対象の日本語科目の一つ「総合B」は、年中行事、日本の鉄道や建物などの特色を盛り込んだ内容で、日本という国と文化を深く理解することにつながっています。ゲストの日本人学生の体験談を通じて、リアルな日本文化も知ることができています。

「日本語コミュニケーション技法」は、日本語教師を目指す人の授業ですが、メールや広告など、生活に密着した日本語の使い方だけでなく、受講生との意見交換を通じて学ぶことが多いです。「異文化コミュニケーション」は、毎回コミュニケーションにまつわる新しい発見があってとても面白く、また私は国際政治にも興味があるので「国際関係論」では毎週、国際政治の問題について考えるのが楽しいです。

Q2:大学の中で好きな場所があれば教えてください。

アイランズ(i-Learning Space)です。チューターの友達と一緒に初めて利用しましたが、向かい合ったソファはとても居心地がよく、グループでの討論や休憩にも最適だと思います。一人で使えるスペースも、静かに勉強したい時には、自分だけの快適な空間となります。

Q3:「なでしこ」と、今後どのような活動がしたいですか?

一緒にハイキングやピクニックなどの活動を通じて、台湾と日本の文化交流ができるといいなと思います。学内でゲームをしたり、意見交換したりすることでも、お互いの理解が深まるのではと思います。



左からWさん、Sさん、Tさん
※撮影時につきマスクを外しています。

Sさんが留学中に、藤女子大学の学生とたくさん交流ができればと思います。インタビューへのご協力ありがとうございました。

学校法人藤学園 藤女子大学 2021年度 決算諸表

2021年度 資金収支計算書 (単位：千円)

科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
学生生徒等納付金収入	2,017,402	1,940,805	2,319,198
手数料収入	31,794	29,715	33,605
寄付金収入	15,456	4,570	36,540
補助金収入	280,962	310,117	927,629
資産売却収入	850,000	937,097	937,151
付随事業・収益事業収入	4,396	10,284	34,004
受取利息・配当金収入	7,397	8,212	10,755
雑収入	57,535	123,306	161,916
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	678,591	604,033	653,541
その他の収入	555,322	553,807	1,331,759
資金収入調整勘定	△ 788,332	△ 812,218	△ 909,960
前年度繰越支払資金	1,040,010	1,075,650	2,252,143
収入の部 合計	4,750,533	4,785,378	7,788,281
人件費支出	1,586,937	1,638,278	2,464,874
教育研究費支出	577,489	503,256	627,767
管理経費支出	87,333	92,210	135,155
借入金等利息支出	2,103	1,710	1,710
借入金等返済支出	79,440	60,000	60,000
施設関係支出	8,717	67,673	78,168
設備関係支出	44,992	41,673	59,985
資産運用支出	1,282,480	1,445,966	2,183,627
その他の支出	56,052	59,978	69,182
資金支出調整勘定	△ 50,660	△ 26,875	△ 66,416
翌年度繰越支払資金	1,075,650	901,509	2,174,229
支出の部 合計	4,750,533	4,785,378	7,788,281

2021年度末 貸借対照表 (単位：千円)

科目	法人 前年度	法人 決算額
固定資産	15,826,195	15,580,683
有形固定資産	10,564,799	10,301,829
特定資産	5,229,125	5,255,233
その他の固定資産	32,271	23,621
流動資産	2,410,086	2,409,414
資産の部 合計	18,236,281	17,990,097
固定負債	1,176,366	1,107,591
流動負債	911,000	840,204
負債の部 合計	2,087,366	1,947,795
基本金	19,507,618	19,635,479
繰越収支差額	△ 3,358,703	△ 3,593,177
純資産の部合計	16,148,915	16,042,302
負債及び純資産の部 合計	18,236,281	17,990,097

藤女子大学 2021年度決算の概要

事業活動収支計算書のうち、教育活動収支の収入の部の合計は学生生徒等納付金及び寄付金の減少等により、前年度比1千万円減の23億91百万円となりました。前年と比べて学生数が73名減少したこと、寄付件数及び大口寄付の受入れが減少したこと等が主な要因です。また、支出の部の合計は25億22百万円で、前年度比2千万円減少しました。人件費が前年度比52百万円増加した一方で、教育研究経費は78百万円減少しています。前年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い「学修環境整備奨学金」の給付を実施しましたが、当年度は同奨学金の給付がなかったことが、教育研究経費が減少した主な要因です。これらの結果、教育活動収支差額が1億30百万円の支出超過となっています。特殊要因によって発生した臨時的収支を表す特別収支においては、非対面授業を円滑に実施するためのラーニングマネジメントシステム等の整備費として、文部科学省の私立学校情報機器整備費(遠隔授業活用推進事業)補助金を計上したほか、花川校舎のバリアフリー工事及び空調設備事業に係る施設整備費補助金を計上しています。

これらの結果、基本金組入前当年度収支差額は99百万円の支出超過となりました。基本金については、固定資産の取得(施設設備、教育研究用機器備品、図書等)及び借入金の返済等により1億51百万円を組入れています。資金収支計算書では、北16条校舎増築事業借入金が完済したことにより、借入金等返済支出が前年度比19百万円の減少に感しました。一方、学生数の減少等により前受金収入が前年度比74百万円減少しております。また、その他の収入では、在学生等を対象とした新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を実施したことから受託事業収入の8百万円余を計上しています。これらの結果、翌年度繰越支払資金は、前年度比1億74百万円減の9億01百万円となりました。少子化の急速な進行による学生数の減少や近年の教育研究のデジタル化等に関連する費用の増大など、私学を取り巻く環境は一層厳しさを増していますが、経費の削減等の経営努力をしつつ、教育研究環境の更なる向上に向けたキャンパス整備や学修支援体制の充実に努めて参ります。

2022年度 入試報告

■藤女子大学総計

学部	学科	募集	出願	受験	合格	入学
文学部	英語文化学科	90	303	297	231	91
	日本語・日本文学科	90	335	333	285	89
	文化総合学科	90	294	291	219	83
	計	270	932	921	735	263
人間生活学部	人間生活学科	50	151	145	140	33
	食物栄養学科	80	133	131	121	43
	子ども教育学科	80	215	210	184	75
	計	210	499	486	445	151
合計		480	1431	1407	1180	414

□一般選抜入学試験 (A日程) ※試験1日目・2日目合計 ※追加合格は含まない

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	48	190	184	159
	日本語・日本文学科	39	159	157	127
	文化総合学科	40	179	176	144
	計	127	528	517	430
人間生活学部	人間生活学科	12	61	55	55
	食物栄養学科	32	56	51	45
	子ども教育学科	35	93	88	72
	計	79	210	194	172
合計		206	738	711	602

□一般選抜入学試験 (B日程) ※追加合格は含まない

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	日本語・日本文学科	10	16	16	14

□大学入学共通テスト利用入学試験 (A日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	5	75	38
	日本語・日本文学科	10	135	120
	文化総合学科	5	77	39
	計	20	287	197
人間生活学部	人間生活学科	12	62	57
	食物栄養学科	10	49	46
	子ども教育学科	5	78	68
	計	27	189	171
合計		47	476	368

2021年度 事業活動収支計算書 (単位：千円)

区分	科目	大学 前年度	大学 決算額	法人 決算額
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,017,402	1,940,805	2,319,198
	手数料	31,794	29,715	33,605
	寄付金	15,456	4,689	21,099
	経常費等補助金	275,229	282,811	900,323
	付随事業収入	4,396	10,284	33,547
	雑収入	57,535	123,306	162,551
	教育活動収入計	2,401,812	2,391,610	3,470,323
	人件費	1,585,301	1,637,328	2,463,924
	教育研究経費	846,416	767,656	988,935
	管理経費	110,889	116,171	173,779
教育活動支出の部	徴収不能額等	0	858	858
	教育活動支出計	2,542,606	2,522,013	3,627,496
	教育活動収支差額	△ 140,794	△ 130,403	△ 157,173
	事業活動収入の部	2,401,812	2,391,610	3,470,323
	受取利息・配当金	7,397	8,211	10,755
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	7,397	8,211	10,755
	借入金等利息	2,103	1,710	1,710
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	2,103	1,710	1,710
教育活動外収支差額	5,294	6,501	9,045	
経常収支差額	△ 135,500	△ 123,902	△ 148,128	
事業活動収入の部	2,401,812	2,391,610	3,470,323	
資産売却差額	0	4	58	
その他の特別収入	9,774	29,543	47,466	
特別収入計	9,774	29,547	47,524	
事業活動支出の部	2,542,606	2,522,013	3,627,496	
資産処分差額	4,464	4,958	5,881	
その他の特別支出	748	0	127	
特別支出計	5,212	4,958	6,008	
特別収支差額	4,562	24,589	41,516	
基本金組入前当年度収支差額	△ 130,938	△ 99,313	△ 106,612	
基本金組入額 合計	△ 109,736	△ 151,443	△ 172,284	
当年度収支差額	△ 240,674	△ 250,756	△ 278,896	
事業活動収入計	2,418,983	2,429,368	3,528,602	
事業活動支出計	2,549,921	2,528,681	3,635,214	

事業活動収入計	2,418,983	2,429,368	3,528,602
事業活動支出計	2,549,921	2,528,681	3,635,214

□大学入学共通テスト利用入学試験 (B日程)

学部	学科	募集	出願	合格
文学部	英語文化学科	3	11	7
	日本語・日本文学科	3	5	4
	文化総合学科	4	9	8
	計	10	25	19
人間生活学部	人間生活学科	5	6	6
	食物栄養学科	2	3	2
	子ども教育学科	3	2	2
	計	10	11	10
合計		20	36	29

□総合型選抜入学試験

学部	学科	募集	出願	受験	合格
人間生活学部	人間生活学科	5	9	9	9
	食物栄養学科	5	9	9	9
	合計	10	18	18	18

□学校推薦型選抜入学試験

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	20	18	18	18
	日本語・日本文学科	17	18	18	18
	文化総合学科	25	21	20	20
	計	62	57	56	56
人間生活学部	人間生活学科	15	10	10	10
	食物栄養学科	15	17	17	17
	子ども教育学科	25	38	38	38
	計	55	65	65	65
合計		117	122	121	121

□その他、藤学園系列高等学校との間に姉妹校推薦入学試験、カトリック協定高等学校との間にカトリック校推薦入学試験があります。

□編入試験(出願のあった学科のみ)

学部	学科	募集	出願	受験	合格
文学部	英語文化学科	若干名	1	1	1
	文化総合学科	若干名	3	3	1
	合計		4	4	1

□藤女子大学大学院

研究科	専攻	募集	出願	受験	合格
人間生活学	人間生活学専攻	8	4	4	4
	食物栄養学専攻	8	4	4	4
合計		16	8	8	8

2021年度 藤女子大学・大学院 進路就職状況

最新情報は本学HPに掲載いたします。【就職状況】https://www.fujijoshi.ac.jp/career/affair/a_latest/ 【就職先一覧】https://www.fujijoshi.ac.jp/career/list/l_latest/

〈大学〉

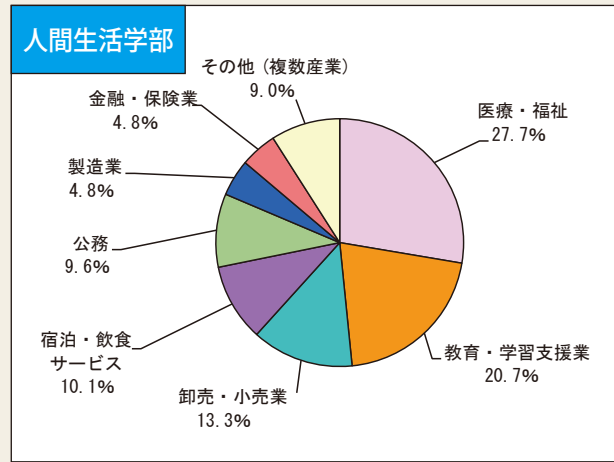
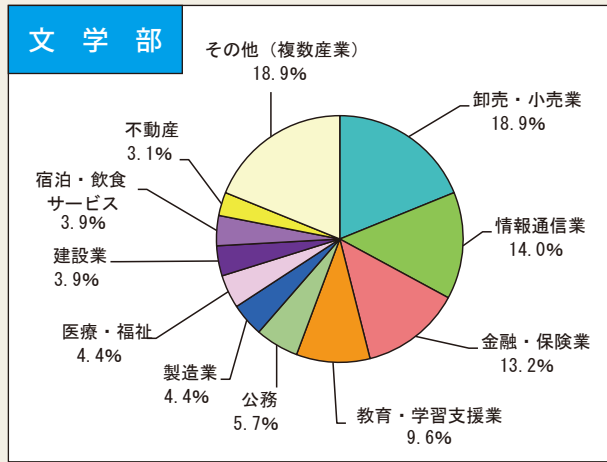
2022年5月1日現在

	卒業 者数 ※1	卒業後の進路					その他 ※2
		進学		就職		就職率	
		希望数	決定数	希望数	決定数		
文 英語文化学科	89	5	2	79	77	97.5%	5
日 日本語・日本文学科	76	3	3	67	65	97.0%	6
文 文化総合学科	101	3	1	90	86	95.6%	8
学 学部計	266	11	6	236	228	96.6%	19
人 人間生活学科	55	3	3	47	45	95.7%	5
食 食物栄養学科	85	3	3	74	73	98.6%	8
保 保育学科	73	2	2	70	70	100.0%	1
学 学部計	213	8	8	191	188	98.4%	14
合 計	479	19	14	427	416	97.4%	33

		就職先内訳							
		企業等		専門職(福祉・栄養・保育)		教員		公務員	
		希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
文 英語文化学科	75	73	—	—	3	3	1	1	
日 日本語・日本文学科	52	50	—	—	10	10	5	5	
文 文化総合学科	81	78	—	—	0	0	9	8	
学 学部計	208	201	—	—	13	13	15	14	
人 人間生活学科	32	30	7	7	4	4	4	4	
食 食物栄養学科	28	28	38	37	1	1	7	7	
保 保育学科	7	7	26	26	29	29	8	8	
学 学部計	67	65	71	70	34	34	19	19	
合 計	275	266	71	70	47	47	34	33	

※1：年度途中の卒業者を含む。 ※2：主婦・社会人入学者を含む。

〈就職先産業別比率〉



〈大学院〉

	修了者数	修了後の進路				
		進学		就職※		その他
		希望数	決定数	希望数	決定数	
人間生活学専攻	2	0	0	1	1	1
食物栄養学専攻	1	0	0	1	1	0
合 計	3	0	0	2	2	1

	就職先内訳							
	企業等		専門職(福祉・栄養)		教員		公務員	
	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数	希望数	決定数
人間生活学専攻	0	0	1	1	0	0	0	0
食物栄養学専攻	0	0	1	1	0	0	0	0
合 計	0	0	2	2	0	0	0	0

※社会人(職場復帰)を含む。

〈主な就職先一覧〉

文学部
【建設】 鹿島建設/北海道セキスイハイム/ヤマチユナイテッドグループ
【製造】 柳井/ロイズコンフェクト/エフピコ/サティス製菓
【情報通信】 NTT東日本-北海道/北海道新聞社/NHK/中央システム
【運輸】 北海道エアポート/ロジネットジャパン/小樽倉庫
【卸売・小売】 北海道酒類販売/山星屋/トヨタモビリティパーツ/イオン北海道/ツルハ/ノトリ/ルイ・ヴィトンジャパン
【金融・保険】 北洋銀行/北海道銀行/三井住友信託銀行/信金中央金庫/東京海上日動火災保険/あいおいニッセイ同和損害保険
【不動産】 北海道空港/常口アトム
【広告】 リクルート北海道じゅらん
【宿泊・飲食】 ルートインジャパン/野口観光グループ
【生活サービス他】 日本旅行北海道/札幌商工会議所/コープさっぽろ/札幌市芸術文化財団/道央農業協同組合
【医療・福祉】 日本年金機構/北海道職員互助会
【教育】 北海道教育委員会/札幌市教育委員会/札幌医科大学
【公務】 国土交通省 北海道開発局/法務省 出入国在留管理庁/北海道庁/札幌市/苫小牧市/北海道警察

人間生活学部
【建設】 岩田地崎建設/北海道セキスイハイム
【製造】 ロバパン/ケイシイシイ/伊藤ハムデリー/東京サラヤ
【情報通信】 中央システム/厨子王
【運輸】 ロジネットジャパン
【卸売・小売】 サッポロウエシマコーヒー/ナシオ/イオン北海道/アイングループ/ツルハ/長谷川産業
【金融・保険】 北洋銀行/北海道銀行/北海道労働金庫
【広告】 北海道アルバイト情報社
【宿泊・飲食】 ルートインジャパン/日清医療食品
【生活サービス他】 コープさっぽろ/NTTネクシア/E P総合
【医療・福祉】 手稲溪仁会病院/中村記念病院/大川原脳神経外科病院/大館記念病院/高齢・障害・求職者雇用支援機構/ノテ福祉会/ほくろう福祉協会/札幌会/日の丸保育園/桃の花保育園/西野中央保育園/小樽市さくら学園
【教育】 北海道教育委員会/函館大妻高等学校/麻生明星幼稚園/カトリック聖園てんしのおうち/札幌ゆたか幼稚園/大通幼稚園/大麻藤認定こども園/認定こども園せいめいのもり
【公務】 総務省北海道管区行政評価局/北海道庁/札幌市/小樽市/滝川市

2021年度卒業生の就職率は、コロナ禍という厳しい状況が続いているにも関わらず、大学全体で9割を超える結果となりました。この結果は、学生一人ひとりが自分自身と向き合い、社会情勢に柔軟に対応して準備を進めたからだと考えております。2021年度卒業生の特徴は、リスク管理能力の高さです。同じくコロナ禍で就職活動を行った先輩達の様子から、志望業界の採用が中止になる可能性やオンライン面接だからこそ起こり得るトラブルを事前に把握し、十分に備え対応していました。一方で、周囲との情報交換不足を不安に感じる、との相談を受けることもありました。オンラインや電話を用いて丁寧に不安を取り除き、自信を持って活動できるようメンタル面のサポートにも注力いたしました。引き続き、本学の強みである一人ひとりに寄り添った個別支援体制を活かし、学生が自らの望むキャリアを選択できるようサポートして参ります。

大学へのご支援ありがとうございます

藤女子大学の寄付募集活動は、みなさまの温かいご支援により、2012年度からの累計が1億8千万円に達しました。寄付募集につきまして深いご理解とご協力を心よりお礼申し上げ、ここに感謝の意を表しご芳名を掲載させていただきます。

寄付者ご芳名 (第19回) 期間 2021年10月1日～2022年3月31日 (敬称略・お申込順)

〈保護者〉	〈卒業生〉	〈旧教職員・旧役員〉	〈教職員・役員〉	〈その他、法人等〉
田中 誠一 匿名 5名 計 6名	吉永 典子 森元 芳枝 金崎 高子 石井 恵子 山崎 晴子 上森 和子 福田 雅子 匿名 13名 船橋千鶴子 計 22名 根本 祐子	箱山富美子 橋本 伸也 匿名 1名 計 3名	佐々木壽幸 福原 直樹 田口 恭子 木村 晶子 匿名 3名 計 7名	藤の実会 高橋 和彰 藤の実会関西支部 計 3名
				計41件 1,781,376円

藤学園創立100周年記念事業に対する寄付の募集を開始致しました (クレジットカードでの受付)。2021年度は匿名で5万円のご寄付を頂きました。ご支援に心から感謝を申し上げます。

■大学への寄付実績・用途のご報告

2021年度大学への寄付受入 実績報告 (2021年4月～2022年3月末)
総計 135件 4,570,376円

2021年度寄付金総計4,570,376円のうち、3,000,000円をキノルド奨学金引当特定資産の積立金へ、残りの1,570,376円を資産取得引当特定資産の積立金へ充当することといたしました。施設設備の拡充のため積立金を使用する際には、別途ご報告いたします。

現在、学生支援体制のさらなる充実のため、新型奨学金制度の創設を検討しております。今後とも、ご支援をいただければ幸いです。

〈内訳〉

卒業生	91件	2,066,000円
保護者	17件	360,000円
旧教職員、役員等	6件	175,000円
教職員、役員等	13件	769,376円
その他	8件	1,200,000円

学内ニュース

2021年度『学生部長賞』『学生部長特別賞』

2021年度の「学生部長賞」「学生部長特別賞」が決定しました。おめでとうございます。

学生部長賞

◆**剣道部** 剣道部は創部以来初の「北海道女子学生剣道選手権大会」で優勝を飾り、全国大会に出場したとともに「新人戦大会」でも第3位の好成績を記録するなど後進の育成にも尽力していることが評価されました。

学生部長特別賞

※受賞時の学年を記載しています。

◇**文学部 英語文化学科 3年生 加藤 凜音さん**
「北海道韓国語弁論大会」で金賞を受賞し、その後も韓国の大学のプログラムに参加して語学に磨きをかけるなど意欲的な姿勢が評価されました。

◇**文学部 日本語・日本文学科 3年生 丸山 朱菜さん**
体力的ハンデを克服するために始めたテコンドーで2年後には「全日本学生大会」緑帯の部・型で優勝。現在もさらに上を目指して努力を続けていることが評価されました。

◇**文学部 英語文化学科 4年生 河越 春菜さん**
ジェンダーに関する情報発信の組織を立ち上げ、他大学のメンバーとも協力してSNSを中心に問題提起する姿勢が目目され、北海道新聞でも取り上げられた事が評価されました。

◇**文学部 英語文化学科 4年生 園田 麻乃さん**
競技舞蹈部部長として後進の育成に尽力する傍ら、個人としても研鑽を積み「全北海道クラス別競技会アマチュアラテンA級の部」では見事優勝するなど努力を惜しまぬ姿勢が評価されました。

大会入賞の記録

2022.6.1現在

新北海道スタイル アイデアコンテスト

●アイデア賞受賞

文学部 英語文化学科 3年生

村本 帆奈美さん

北海道が開催した感染症対策を効率的・効果的に取り組むためのアイデアを募集するコンテスト「新北海道スタイルアイデアコンテスト」にて村本さんの「コンサート・イベント開催時の混雑回避についてのアイデア」が見事アイデア賞を受賞しました。



※撮影時につきマスクを外しています。

心よりご冥福をお祈りいたします。

元藤女子大学 文学部 英語文化学科
教授 **笹本 昭夫様**



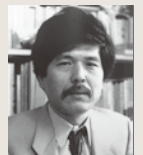
2021年4月7日ご逝去 88歳
1957年北海道立札幌北高等学校に教諭として勤務。1965年藤女子短期大学講師として着任。1968年藤女子大学助教授、1974年同教授。2003年3月に定年退職。在職中は、1992年～1998年英文学部主任を併任し、長年に亘り本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。

元藤女子大学 人間生活学部 食物栄養学科
教授 **笹谷 美恵子様**



2021年12月7日ご逝去 88歳
病院、保健所等で管理栄養士として勤務の後、1992年藤女子大学人間生活学部助教授として着任。1999年同教授、また、2000年には北海道社会貢献賞を受賞。2004年3月に定年退職。在職中は、本学の管理栄養士の養成にご尽力頂きました。

元藤女子大学 文学部 国文学科
教授 **村井 紀様**



2022年2月13日ご逝去 77歳
1987年藤女子短期大学講師として着任。1988年同助教授、1993年藤女子大学文学部助教授、1994年同教授、1999年3月に退職。在職中は、本学を支え、学生の教育にご尽力頂きました。

札幌市広報テレビ番組『ウォッチング札幌NEXT100』(TVh)に、藤女子大学の学生がリポーター・学生ウォッチャーズ役として参加し、札幌のPRを支えています。本番組では夢に向かってひた走る学生たちが、市内のイベントや施設など、札幌の「今」を若い世代の視聴者に向けて楽しく発信しています。この度は、本学学生がレポートを担当した回の体験談をお届けいたします。

※写真撮影時につき、マスクを外している場合がございます。



左から高木さん、秋葉さん

「穴場インスタ映えスポット発見！」

文学部 英語文化学科 4年 T.Aさん
文学部 日本語・日本文学科 4年 A.Rさん

私たちはこのたび「ウォッチング札幌NEXT100」という番組のリポーターとして、定山溪を訪れました。今回「定山溪のインスタ映えスポットを探せ！」というお題のもと、定山溪の各所を巡りました。テレビ撮影は初体験で、もこもこした小さなマイクを首から通してつけたり、目の前の大きなカメラに向かって話したり、フリップをめくったり……「いつもテレビでリポーターさんがやっていることだ!」と思い心が躍りました。撮影中は、場をあたたく盛り上げてくださるスタッフの方々のお陰で、緊張で固まった私たちの心は解けていき和気あいあいとした雰囲気の中で心から楽しんで撮影することができました。

この時期定山溪には「こどもの日」の鯉のぼりが揚がっており、

その数は全部で100匹以上だそうです。大きさ・模様・形など多種多様な鯉のぼりに魅了されました。

また、定山溪源泉公園では足湯を体験しました。足元がじわじわと温かくなり、5分程で身体全体がぼかぼかになりました。またお肌もつやつやもちもちになり癒されました。

他にも、足湯に入っているわずかの間に完成する温泉卵作りも楽しめるそうです。今回の取材では残念ながら体験できませんでしたが、次回定山溪に行った際はぜひ温泉卵を作りたいと思いました!

定山溪は見どころも沢山あり、まさに“インスタ映え”スポットが目白押しでした! こんな魅力たっぷりの定山溪に、皆さんもぜひ足を運んでみてくださいね。



左から高田さん、宮川さん

「北海道新幹線工事のいま」

文学部 英語文化学科 3年 T.Mさん
文学部 文化総合学科 3年 M.Hさん

私たちはこのたび「学生ウォッチャーズ」として、北海道新幹線の工事現場へ取材に伺いました。撮影では新幹線のトンネル工事を間近で見ることができ、非常に貴重な経験となりました。

取材当日は雨の降る悪天候のなか撮影が始まり、私たちは初めてのリポーター挑戦ということでとても緊張しましたが、撮影スタッフの方々や工事現場の方々のおかげで楽しく撮影を行うことができました。

北海道新幹線は現在、札幌側へ延びる「札幌トンネル」の工事を行っています。私たちは実際に、地下30mで行われている現場へ立ち入ることができました。トンネル内は非常に広々としており、その

直径は12mほどあるそうです。「シールド工法」を用いて、巨大な筒状の掘削機でトンネルを掘り進め、掘った部分にセグメントを組み上げてトンネルは作られています。この「シールド工法」とは、騒音を低減し地盤への影響が少ないという特徴があるそうで、工事現場近くの市街地への配慮もされた安心安全な工事が行われていました。

今回の経験から、北海道新幹線の工事の様子が分かっただけでなく、このような工事のおかげで私たちが快適に暮らしているのだと改めて気づきました。さらに、この経験は私たちの自己成長にも繋がる良い機会だったように思います。このような素敵な機会をいただけて嬉しいです。

今後も私たちがレポートをする機会がありますので、皆さんぜひ「ウォッチング札幌NEXT100」をご覧ください。



番組のナレーションは本学卒業生(文学部 文化総合学科 2016年卒業)で現在フリーアナウンサーとしてご活躍中の太細真弥さんが担当されています。



「ウォッチング札幌NEXT100」

毎月第1・第3日曜日の17時15分からTVh(テレビ北海道)で放送中! ぜひご覧ください。番組公式Instagram(@watchingsapporo)にて番組撮影の様子や、出演する学生リポーター「ウォッチャーズ」の撮影した写真など、「#ウォッチング札幌NEXT100」のハッシュタグで公開しています。

子ども達との触れ合いを通して学ぶこと



文学部
英語文化学科
3年
M.Yさん

私は現在、児童英語の授業での学びを活かして、週に一回程、近隣の小学校でボランティア実習に参加しています。元々子どもが好きで、かつ英語に関わる機会が多い私にとって、実際に小学校という現場で英語を教えることができるのは、非常に良い経験になると思っています。ただ、現実にはそう簡単にはいかず、小学生と触れ合うことが減多になかった私が最初にぶつかった壁は、子どもとの接し方でした。当たり前のことに、子どもは皆異なるため、一人一人に合った寄り添い方をすることが大切だと痛感しています。また、日によって児童の反応が異なるので、児童のモチベーションを上げるために、いかにして臨機応変な対応を取るかに苦心しています。さらに、5教科の中でも、特に英語の授業は、コミュニケーションがあってこそ成り立つものなので、児童との対話の重要性を改めて実感しています。今後も、以上のことを心掛けながら実習に臨み、実習が終わる頃には、一回り成長した自分になれるよう頑張りたいです。



"It's sunny!"



実習で使用する教科書と絵カード

わたしの文武両道、チャレンジライフ!



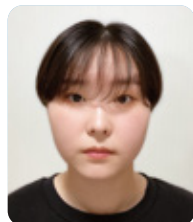
文学部
日本語・日本文学科
3年
S.Yさん

対面での授業が再開し、部活動や日々の授業で仲間に出会える喜びを噛みしめながら学生生活を送っています。国語科の教員を目指している私は、コロナ禍で対面での授業がままならなかった2年間で小中学校や児童会館でのボランティア活動へ参加する時間にあてました。また、小学生の頃より続けてきた人形劇や人形浄瑠璃の公演活動を現在も続けており、道内外での公演に加えて、オンラインでの国内外の人との交流事業などを行いました。部活動では、剣道部に所属し、限られた時間の中で仲間と稽古に励み、新人戦の団体では3位という成績を残すことができました。今後も大会では一度でも多く試合ができるよう励んでいきます。残りの大学生活は、教員採用試験の勉強も念頭に置きながら、制限のある中で自分がやりたいことと、自分のためにやるべきことをよく考えて、積極的に行動に移していきたいです。



※撮影時につきマスクを外しています。

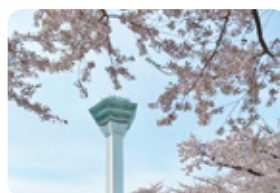
閉鎖された生活の中で



文学部
文化総合学科
4年
F.Sさん

現在4年生となり、大学生活を振り返ってみると、ほとんどがコロナウイルスによって制限された生活だったと思います。私はコロナウイルス流行前に留学を検討していましたが、その後すべてのプログラムが中止となってしまいました。一時は何もやる気がなくなってしまい、外出自粛の影響もあって閉鎖された空間で過ごしていました。しかしそのような状況下でも、留学と似たような環境を味わいたいと思い、アプリなどで外国に住む方々と積極的にメッセージをやり取りすることを始めました。たくさんの方とやり取りをして、その方の地元の風景などの写真を見せてもらったりするなど、学習しながら少しでも旅行気分・留学気分が楽しめるようにしていました。

最近では、コロナウイルスによる制限が少しずつ緩和され、趣味でもあった旅行が少しずつできるような状況になりました。これからは各地に行ける機会も増えると思うので、残りの学生生活を充実させられるように過ごしていきたいです。



制限緩和後に行った旅行時の写真

Ctrl+Shift+Tで大学生活にいろいろな可能性を



人間生活学部
人間生活学科
3年
N.Kさん

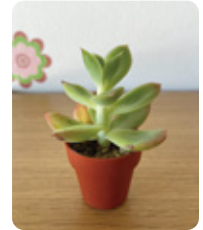
「Ctrl+Shift+T」は一度閉じてしまったタブを復活させるショートカットキーです。

私は大学生になってから、やりたいことはどんなに小さなことでも“忘れないように”メモ帳に書いて壁に貼るようにしています。「水色のネイルが欲しい」「自分で作ったハンドメイドの作品を販売したい」「植物を育てたい」「成績を上げたい」……などなど。たまに壁を見て自分を鼓舞し、成し遂げられれば壁から外します。言わば、未来の自分に与えるミッションです。

中には「ヘアドネーション(髪を提供)したい」のように時間がかかるものもあります。時間はかかるけど人生で一回はやってみたい! そんな想いで今年、ヘアドネーションをしました。ずっと伸ばし続けた長かった髪をバツサリと切り、NPO法人へ郵送しました。ただの自己満足です。しかし、自分が納得できるお金の使い方・時間の使い方をしたい。皆さんが今やりたいことは何ですか? 私はゆっくりディズニー映画を観たいです。



実際に販売したアクセサリ



育てている多肉植物

子どもの「やりたい」をカタチに



人間生活学部
食物栄養学科
3年
O.Rさん

私はカコタムサークル藤に所属子どもたちとの関わりを大切にしています。カコタムは一人親世帯や生活保護世帯など環境によって学びの場が左右されてしまう子どもたちの支援を行っているNPO法人です。

私は中学1年生のころからお世話になっていましたが、大学進学後ボランティアとして活動に参加させて頂いています。「学びの支援」なので主に勉強を教えるという活動内容ですが、子どもの「やりたい」をカタチにするプロジェクト(通称カタチ化)というものがあり、実際の職場にお邪魔させて頂きお仕事体験をしたり、子どもがやりたいと声をあげた遊びやイベントを実施したりと、勉強以外での学びも大切にしています。私は子どもたちを第一優先に考えています。考えや悩みを否定せず、会話やコミュニケーションを大切に、安心して過ごせる空間にしたいです。私が子どもの立場だったときにしてもらったように、今の子どもたちを支えていきたいです。

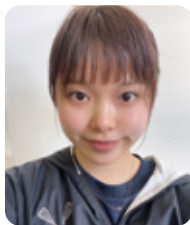


「初音ミクに会いたい!」
カタチ化プロジェクトのようす
(※コロナ禍以前)



ワンディシェフ体験 (※コロナ禍以前)

新しいことへの挑戦



人間生活学部
子ども教育学科
3年
Y.Rさん

「後悔したくない」自分を振り返り、そう思いました。気付いた頃には大学3年生。コロナと共に大学生活をスタートした私は「コロナでなければ」が、いつの間にか口癖になっていました。そんなこと言っても時は戻りません。この空白の2年の悔しさから「もう後悔しない」、そう自分に誓いました。今しか出来ないことをしようと思ったその時に、誘われたのがラクロス部でした。感謝や褒め合いを大切にしている部の雰囲気には惹かれましたが、運動部での経験がなかったため、今から新たに挑戦することには不安がありました。「このままでは同じ思いをする」そう感じ、まずやってみることに。ラクロス部員との関わりもとても楽しく、今は毎日が充実しています。未経験者ですが、人よりも努力することを目標に、皆に助けられながら頑張っています。挑戦は自分を変える良い機会になると思うので、ぜひ皆さんも藤女子大学に入ったからこそ出来ることを始めてみて下さい!



1940年4月1日には、教会を国家的統制のもとに置くために前年に公布された宗教団体法が施行されました。9月6日に教皇使節から上京を求められたキノルド司教は、同月15日に帰札した翌日に札幌在住の司祭たち全員を呼び集め、東京での話を伝えました。幾つか学校に関係することを記すと次の通り：(1) 外国人教区長は辞任して、邦人と更迭すること、(2) 日本の教会は外国から独立し、決して外国からもローマからも援助を受けてはならぬこと、(3) 外国人である学校長は早速邦人と更迭しなければならぬこと、(4) 日本の学校はみな無宗教を建前としているのであるから、学校の中に宗教的印を置いてはならぬこと、修道服もやはり宗教的印とみなすので、修道女たちは学校に出る時には俗服を着なければならぬこと、(5) 外国人教職員は当分授業を続けてよいが、ただ語学の教授に限ること、そして漸次日本人と更迭してほしいこと、などでした。キノルド司教は、1940年10月に札幌代牧としての辞表を提出し、1941年2月に後任の戸田帯刀師が着任。1940年12月に校長Sr. クサヴェラが辞任届を提出し、Sr. 牧野キクを校長とする許可を文部省に申請しました。1941年2月24日にその許可が届き、3月1日にSr. 牧野キクが正式に校長の任に就きました。

道内唯一の5年制高等女学校であった藤も、1944年から

4年制にするよう政府からの命令があり、1945年3月には4年生と5年生が同時に卒業です。これで生徒の数は大いに減るはずでした。ところが、国は札幌に女子医専を作るために北星女学校の校舎を接収し、そのため北星は生徒を受け入れることができず、藤で100人ほど多くの生徒、つまり250人を入れるようにと道庁からの要請。その結果、約300人を合格させて、892人の生徒で1945年の新年度開始です。

どの学校も軍の作業場に生徒派遣があり、藤の生徒も軍の被服廠工場作業が求められました。牧野校長は工場ではなく学校でその作業を行うことを願い出て、生徒たちが校内作業をする許可を得、交代で作業と勉強を行いました。軍の要求にも毅然として学校側の考えを述べ、生徒たちを守ったのです。結果的に、毎日ノルマ以上の働きができて土・日は休むことができ、軍も満足の上、時折、食糧や薪・石炭などを学校や寄宿舎、そしてマリア院にまでも運んでくれたと記録されています。



和服を着て執務するシスター牧野校長



軍の要請による兵隊のシャツなどの縫製作業を、工場ではなく校内で。

藤女子大学 未来共創フォーラム 2022

第1回 9月23日(金)

- テーマ：「乳幼児期におけるアタッチメントと非認知的な心の発達」
- 登壇者：遠藤 利彦氏 (東京大学大学院教授・発達保育実践政策学センター長)

第2回 10月29日(土)

- テーマ：「おいしく楽しく健康づくりーコロナ禍における食と運動のすすめ(仮)」
- 登壇者：木本 理可 (本学人間生活学部保育学科/子ども教育学科准教授)・篠原 翠氏 (本学非常勤講師)

第3回 11月26日(土)

- テーマ：「チャペルで聴く『冬の名作』と『オルガンの世界』」
- 朗 読：今中 麻貴氏 (本学卒業生・元STVアナウンサー)
- 演 奏：大野 敦子氏 (カトリック北一条教会オルガニスト)

※詳細につきましては、後日、本学ホームページでご案内予定です。そちらをご確認ください。

参加お申し込み 事前に本学ホームページ上からお申し込みください。 <https://www.fujijoshi.ac.jp/>